

# コンセプト(案)

## ■コンセプト検討の方法

県民意見・委員会議論を踏まえて作成した3つの役割機能を軸に、博物館の特徴・強み、博物館公園の一体化、地域性を合わせ、それらを指針として、コンセプトの検討を行う。

### 1. 県民意見・委員会での議論に基づく

県民の声と専門家の知見から導き出されたの3つの役割機能を基礎とする。

### 2. 博物館の特徴強みをふまえる

「モノの力(県内全域、全時代、多分野、膨大)・場の力」を基礎とする。

### 3. 博物館と公園を一体的に考える

博物館と公園全体を一つのミュージアムパークとして捉える。

### 4. 福井ならではの独自性を表現する

経糸＝モノの力・博物館・学芸員 緯糸＝場の力・公園・県民  
織りあがる布＝未来の博物館・公園

コンセプト:A案 (文化財を守り、調査し、未来へつなぐことを軸とした案)

## コンセプト

# 福井の宝を未来へ織りつぐ。

福井の宝を守り、学びと交流の拠点として  
自己確立と持続可能な地域社会を共創する。

## 意図

福井の宝とは、貴重な文化財はもちろん、県民一人ひとりの心身の健康も含まれています。未来を創るこれらの宝を、一体的に守り育てることを意図しています。博物館が持つ「モノの力」を経糸に、公園が持つ「場の力」を緯糸に見立て、かつて世界に羽ばたいた福井の繊維産業にかけて、福井の未来を織りなします。

当館は文化財の収集・保存・研究と、県民の学び・交流の場を一体化したミュージアムパークとして再構築されます。ミュージアムとパークの中間領域を設けることにより、文化財を守る場と交流の場が連続した場となり、県民が文化と自然の両面から、いつでも「福井の宝」にアクセスできるようになります。

そして、県内の文化財を途切れさせることなく未来へ「織りつぎ」、福井県全体の文化基盤を強化します。

コンセプト：B案（展示・体験・探究を通じ、県民の学びと郷土愛を育む案。）

## コンセプト

# 福井を知り、わたしを織りあげる。

福井の歴史と豊かな風土を通じ、  
知る喜びと心の安らぎを育み、福井を愛し誇れる未来を創る。

## 意図

県民一人ひとりが福井の歴史と文化財に触れることを通じて、自分のルーツと向き合い、未来へ学び続ける力を育むことを主眼とします。

当館は、県内全域、全時代、多分野、膨大に広がるモノの力を可視化し、福井の壮大な時の流れを体感できる学びの環境を構築します。五感を使った体験など、多様な人々の興味に応える多角的な探究の仕組みを設け、来館するたびに学びが深まる「自分を織りあげる場」を目指します。

博物館と公園を横断的に、そして日常的に利用できるようにすることで、学びが自然と県民の生活の中に溶け込みます。これにより、福井人としてのアイデンティティ形成と文化的な誇りの醸成へとつなげていきます。

コンセプト：C案（開かれた場としての価値を最大化し、世代を超えた交流と心身の健康を打ち出す案。）

## コンセプト

# みんなで織りなす福井の居場所。

歴史と自然の森で、  
心身の健やかさと多世代の交流を優しく織りなすみんなの居場所。

## 意図

当館は、博物館と公園を一体的に捉えることで、誰もが立ち寄り、身体を動かし、くつろぎ、交流できる福井の居場所としての価値を最大化します。博物館の持つ文化資源を経系に、多様な活動が重なり合う場を緯糸として掛け合わせ、県民が共に過ごす時間を豊かに織りあげます。

みんなの居場所として、私たちは福井らしさに満ちた、安全で心地よい憩いの空間を形成します。具体的には、博物館の内部が見える仕掛けや、展示と屋外活動を自由に行き来できる動線によって、文化と自然、遊びと学びが境界なくつながる「開かれた公共空間」を創出します。そして、地域とともにあゆむミュージアムの新しいあり方を提示していきます。

コンセプト：D案（ABC全ての要素を盛り込んだ案。）

## コンセプト

# 「福井の宝」を未来へ織りつぎ、 わたしとふくいを豊かに育むミュージアムパーク

## 意図

福井の「宝」とは、貴重な文化財はもちろん、県民一人ひとりの心身の健康も含まれています。私たちは、未来を創るこれらの宝を一体的に守り育て、次世代へ織りつぐことをコンセプトとします。

その舞台となるのが、博物館と公園が融合した「開かれた公共空間」です。博物館が持つ貴重な文化資源を経糸に、公園で生まれる多様な交流を緯糸に見立て、誰もが心地よく過ごせる「居場所」を創出します。建物内外が連続する開放的な計画により、文化と自然、遊びと学びが境界なくつながり、日常の中に自然と文化が溶け込む環境を整えます。

この場所で、人々は福井の壮大な時の流れと「モノの力」に触れ、自身のルーツと向き合います。五感を使った探究や体験を通じて、来館するたびに新たな発見に出会い、学びが深まり「自分を織りあげる場」となります。こうして、福井の未来を織りなすミュージアムパークは、福井人としての誇りを育むとともに、福井県全体の文化基盤を力強くしていきます。

# 福井の宝を未来へ織りつぐ。

福井の宝を守り、学びと交流の拠点として  
自己の確立と持続可能な地域社会を共創する。

## 役割と機能

### 役割1

#### 県内地域の宝（文化財）を 守り活かす場

##### 機能

福井県の歴史や文化に関わる資料を収集（保管・保存・補修を含む）し、総合的な調査研究を進める

- ◆県内全域の文化財の収集、保存を継続し、気候変動や少子高齢化などの社会状況に対応したレスキューを新たに行う。そのため、収蔵庫の地上階化・増築が必要。他館との共同収蔵庫という考え方も検討
- ◆調査研究については、県内の博物館や民間とより密接に連携して、県内の総合的な調査研究体制を構築



### 役割2

#### 県民の学びと探求の場 （アイデンティティ、シビックプライドの形成）

##### 機能

福井の歴史を総観し、本物の質・量を感じ、博物館の舞台裏もわかる展示や、体験・遊びを通じて、多様な県民の知的好奇心を刺激し、学びと探究を継続的に支援する

- ◆福井の時の流れを感じ、県内全域の地域の特徴が分かる展示への改良
- ◆オープン収蔵庫の拡充を含めて、多種多様な文化財を、量感あふれる展示によって、豊かな文化遺産を公開
- ◆文化財の整理・クリーニング・レスキュー・保存などの博物館の裏側を可視化する展示を充実
- ◆興味関心をひき分けやすくするために、五感を刺激する展示と教育プログラムが一体となった体験、ワークショップに、デジタル技術も活用しながら追加、拡充する
- ◆「昭和のくらし」を拡充させて平成の暮らし展示も追加。家族の各世代が楽しめる場とする



### 役割3

#### 地域との交流・心身の健康・ 安らぎの場

##### 機能

誰もが自然・歴史文化に触れながら、身体を動かし、心身の安らぎを育むことができ、気軽に立ち寄れるみんなの居場所を提供する

- ◆博物館の中の様子が見られる等、博物館と公園の間のつながりを楽しみながらお互いを行き来できる仕掛けを検討
- ◆仕掛けの中には、レトロ体験や自然体験、大学生や小中高生との交流等、複数の活動が同時に行える交流スペースなどを検討
- ◆植栽環境を重視しつつ、端から端まで見通せる通りを設けるなど、安心できる空間にも配慮
- ◆多目的グラウンド（トラック、芝生）、テニスコートは適切な維持補修を行ったうえで継続
- ◆雨でも遊べてインクルーシブな遊び場、安らげる休息環境（日除け、ベンチ、トイレ等）、駐車場の改善

